

がん化学療法レジメン

登録日：2015 年 1 月 13 日

更新日：2020 年 8 月 5 日

レジメン名	CapeOX
使用がん種	胃癌
実施場所	<input checked="" type="checkbox"/> 外来 <input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input type="checkbox"/> ()
抗がん剤 適応分類	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> ()

診療科	内科
医長	三坂 高春
申請医師	三坂 高春

本レジメンの 位置づけ	進行・再発胃癌の一次治療の一つ				
患者使用条件	(1)PS:0-2、(2)WBC:3000-12000/mm ³ , NEUT \geq 1500/mm ³ , PLT \geq 10万/mm ³ , T-Bil \leq 1.5 \times 正常値上限, AST \cdot ALT \leq 2 \times 正常値上限, Scr \leq 1.5 \times 正常値上限				
除外規定	活動性の感染症を有する症例(38 $^{\circ}$ C以上の発熱)、妊娠の可能性・意志のある症例または妊婦・授乳婦、重篤な腎機能障害のある患者、テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤投与中及び投与中止後7日以内の患者、本レジメンに使用する成分または他の白金製剤、フルオロフラシルに対し過敏症既往歴のある患者、咯血(2.5mL以上の新鮮血の咯出)の既往のある患者				
No.	抗がん剤名	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8 など)
1	オキサリプラチン注	130mg/m ²	div	2時間	day1
2	カペシタビン	2500mg/m ²	po	1日2回朝夕食後	day1 夕-15朝
1コース期間 (次コースまでの標準期間)		21日間	総コース数	PDまで	
コース間での 休薬の規定	血液毒性G3,非血液毒性G3以上,水様性下痢,感染を伴う発熱(38 $^{\circ}$ C以上)のとき休薬				
減量基準	<ul style="list-style-type: none"> ・血小板減少Grade3, 好中球減少Grade3, 発熱性好中球減少症Grade3, 非血液毒性Grade3\rightarrowオキサリプラチン・カペシタビン一段階減量 ・カペシタビンに起因するGrade2非血液毒性\rightarrowGrade1以下になるまで休薬後カペシタビン一段階減量 ・感覚性神経障害：コースを越えて継続するGrade2もしくは7日以上継続するGrade3\rightarrowオキサリプラチン一段階減量 <p><ゼローダ減量時の投与量>減量段階1\rightarrow減量段階2の順に1回用量を記載 ①体表面積1.41未満：900mg\rightarrow600mg、②体表面積1.41以上1.51未満：1200mg\rightarrow600mg、③体表面積1.51以上1.81未満：1200mg\rightarrow900mg、④体表面積1.81以上2.11未満：1500mg\rightarrow900mg、⑤体表面積1.21以上：1500mg\rightarrow1200mg <オキサリプラチンの減量>通常130mg/m²\rightarrow一段階減量100mg/m²\rightarrow二段階減量85mg/m²</p>				
中止基準	<オキサリプラチン中止> ・感覚性神経毒性：コースを超えて継続するGrade3				
プレメディケーション ポストメディケーション	Premedi:ボララミン注5mg、5HT3拮抗薬、デキサメタゾン9.9mg Postmedi:デカドロン錠4mg2錠内服(d2-d3) ・保湿クリームの頻回塗布(目安：1日5回以上)				
その他 (特記事項等)					

具体的な投与スケジュール

Rp.	薬剤名	規格	数量	投与時間	投与日
1	生理食塩液	100mL	1	メイン・フラッシュ用	day 1
2	アロキシバッグ デカドロン注 ポララミン注		1 9.9 mg 1	30分	day 1
3	5%ブドウ糖液 オキサリプラチン注 デカドロン注	500mL 1.65mg	1 1	2時間 (デカドロンは末梢の 時のみ使用)	day1
	カペシタビン錠	300 mg		1日2回朝夕食後	day1 夕-15 朝
	デカドロン錠	4 mg	2	朝食後	day2-3